

令和元年 機械学会中国四国支部シニア会 企業見学会報告

令和元年7月25日

訪問企業：株式会社三井 E&S マシナリー岡山（岡山県玉野市玉 3 丁目 1-1）

同社の船舶用ディーゼルエンジン工場

訪問日： 7月19日（金）

参加者：15名 事前申し込み18名（3名キャンセル）

内訳：シニア会員7名、広島市立大5名（教員2名、学生3名）、広島大学生3名

内容：

台風による前日の大雨で、見学会開催が危ぶまれたが、当日はなんとか小康状態になり、無事開催することが出来ました。翌日は再び、豪雨警報が発令されるなど、誠に幸運だったとしか言いようがありません。まず、最初に会議室にて、三井 E&S の大津正樹理事（元 支部長）より、造船業界の動向や技術開発動向の詳細な説明を頂きました。学生さんを始め、皆さん真剣に聞いておられました。そのご、マイクロバスに乗り、ディーゼルエンジン工場に移動し、エンジンの加工や組み立て工程などを見学をしました。船用エンジンの大きさには、想像以上のものがあり、見学者全員、驚嘆しておりました。見学終了後、再び、会議室に戻り、質疑応答を行いました。船用エンジンの電動ハイブリッド化や電子制御化の質問など、活発に意見交換をしました。約2時間余りの見学会でしたが、充実した内容に、皆さん満足し、雨の中帰路に着きました。

なお、見学会実施にあたっては、大津理事様に事前準備から大変ご尽力を頂きました。お礼を申し上げます。

また、若い方にもものづくりの面白さを知っていただくことに軸足を置き、見学会を今後も継続していく所存です。ご要望等をシニア会までお寄せください。



大津理事様による会社、業界動向説明



船用エンジン前での記念撮影